

県連・商工会等による支援の動き 3/14~3/20

3/20 秋田県・東成瀬村商工会女性部が街頭で支援活動を実施

東成瀬村商工会女性部が羽後町ボランティア連絡協議会と共に街頭募金並びに支援物資を集める。

3/20 福井県・坂井市商工会青年部が市内4カ所で義援金活動

東日本大震災被災地の若手経営者や商工業の復興支援に向け、坂井市商工会青年部は19日、市内4カ所でチャリティー募金活動を行った。募金会場はイーザ（三国町）、ピアゴ丸岡店（丸岡町）、アル・プラザアミ（春江町）、PLANT2坂井店（坂井町）。

イーザでは、部員が「ご協力お願いします」と買い物客に呼び掛けた。この日は合計で約40万円が集まった。26日も午前10時から正午まで、4カ所で募金活動を行う。寄せられた浄財は宮城、岩手、福島県の各商工会青年部連合会に寄付する。

3/20 山形県・庄内町商工会とボランティアが南三陸町で炊き出し

津波で壊滅的な被害を受けた宮城県南三陸町の避難所となっている南三陸町総合体育館で18日、同町と友好町の盟約を結んでいる庄内町のボランティアが、地元名物の汁物「つゆ餅」の炊き出しを振る舞った。庄内町の商工会と観光協会が企画し、27人のボランティアが参加した。

3/20 北海道・奈井江町商工会がプロ野球チャリティー試合中継会場で義援金募金活動を実施

奈井江町東北太平洋沖地震支援対策本部と商工会は3月20日（日）文化ホールで被災地への支援の義援金募金活動を行った。当日は、日本ハムファイターズ対阪神タイガースの被災地支援チャリティー試合を大画面中継にし、観戦者から集まり総額75万円の義援金を奈井江町を通じて日本赤十字社に寄託した。

3/20 新潟県青連が支援活動

新潟市鳥屋野球場での救援物資仕分け作業に青年部員が協力（3月20日～21日）するとともに、避難所の子供達へローカルヒーローユメレンジャーがお菓子を持って慰問（3月27日慰問(2箇所)）を行った。

3/20 山形県・もがみ南部商工会青年部が活動

青年部において、大船渡市へ生活物資約4トンの支援物資を送った。

3/20 岐阜県・山県市商工会青年部が支援活動

山県市商工会青年部OBの提案で救援物資を集めて送ることとした。

タオル、毛布、紙おむつ（大人・子供）、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、マスク、生理用品、靴下を福島県の郡山市、相馬市に届けた。

3/19 栃木・西那須野商工会が被災者向け炊き出しを実施

東日本大震災で福島県からの避難者を受け入れる那須塩原市や那須町の避難所で商工団体、民間による炊き出しボランティアの輪が広がっている。

那須塩原市南郷屋の市健康長寿センターの避難所は17日午後開設。東京電力福島第1原発がある大熊町、双葉町など屋内待避要請区域半径30キロ圏内の避難者約130人を受け入れた。しかし炊き出しを行わない同市の方針を知った西那須野商工会は「困っている人に手を差し伸べたい」と炊き出しを急ぎ決定した。

3/19 山形県・南陽市商工会女性部が避難所で支援活動

南陽市商工会女性部では、3/19～22まで当番制で、旧中川中避難所で世話係等として活動するとともに、えくぼプラザでの支援物資の仕分け作業を実施した。【本会調べ】

3/19 山形県・高島町商工会女性部が支援活動

高島町商工会女性部では、3月19日～25日（9時～16時）までの7日間について支援物資の受付、振り分け作業を行った。【本会調べ】

3/18 秋田県・ゆざわ小町商工会青年部・女性部が被災地へ救援物資

16日に秋田県ゆざわ小町商工会青年部は被災地への救援物資として毛布・防寒具・タオル等を湯沢青年会議所を通じて提供、18日には同会女性部が被災地への救援物資として衣類、タオル類等を県雄勝振興局を通じて提供した。

3/18 栃木・那須塩原市商工会黒磯支部が被災者向け炊き出しを実施

那須塩原市商工会黒磯支部は19日午前11時半から、町スポーツセンターに避難している福島県からの被災者や町文化センターの町民らを対象に緊急炊き出し。同市の製麺会社「菊地市郎商店」の協力で温かいうどん400食分を用意。

3/18 新潟県・水原商工会が支援活動

水原商工会では、支援物資を集め、県へ届けた。

3/18 福島県・大玉村商工会が支援活動

大玉村商工会では、3月18日に、避難所へみそ50kg支援提供した。

3/18 石川県・能美市商工会青年部が義援金活動

能美市商工会青年部は、20万円の義援金を北國新聞に寄託した。

3/18 長野県・御代田町商工会青年部が支援活動

御代田町商工会青年部では、毛布、タオル、おむつ、ティッシュ等の生活必需品を青年部員の事業所から拋出し、物資を預かり被災地へ配送している岩手県盛岡市の企業「スズキアリーナエヌズ・ステージ盛岡」を通じて、3月18日に被災地へ救援物資を届けた。

3/17 鹿児島県連が県内商工会等を通じ支援物資を県内3カ所に集積

鹿児島県内の商工会・青年部・女性部・地区連絡協議会に対し、飲料水や食料品、衣類等の支援物資の提供を要請し、県内3カ所に支援物資を集めた。

3/17 長崎県連地震関連の相談窓口を開設。

県商工会連合会は14日に加盟社に対する地震関連の相談窓口を設置。「取引があった仙台市の酒屋が壊滅状態」（壱岐市の焼酎会社）「気仙沼漁港に保管していた漁に使う網（約1億6千万円相当）が流された」（雲仙市の水産会社）など報告が寄せられている。

3/17 茨城県内で災害復旧の経営相談窓口開設

県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会の3団体は16日、東日

本大震災を受け、中小・小規模事業者向けの相談窓口を設置したと発表した。災害復旧や融資に関し、平日と当面の土、日曜、祝日も受け付ける。最寄りの3団体で受け付けている。

3/17 北海道当別町商工会等が宮城県大崎市を支援

当別町は16日、東日本大震災で被災した姉妹都市の宮城県大崎市へ食料などの支援物資を送った。大崎市では死傷者が出たほか家屋倒壊の被害があり、約5200人が避難生活を送っている。石狩市や新篠津村からも支援物資が集まり、10トントラックの荷台はいっぱいになった。

当別町は石狩市と新篠津村に協力を要請、3市町村で毛布1100枚、そのまま食べられるアルファ米3550食、ほかに缶詰や紙おむつなども多数集まった。また、北石狩農協は米180キロ、町内に工場があるロイズコンフェクト（札幌）も菓子30箱、当別町商工会はがれきを撤去するためのハンマーや一輪車を提供した。

3/17 富山県内、経済5団体が被災地に飲料水等を支援、

富山県の経済5団体が16日、富山県庁内で東日本巨大地震の被災者支援に総力を挙げるとする声明を発表、2リットル入り飲料水5千本を同日中に岩手県に発送した。

富山県経営者協会の稲垣晴彦会長（北陸コカ・コーラボトリング社長）が呼びかけ、富山経済同友会、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会が一致協力する。救援物資の運搬車両を手配できる県を窓口とし、全国知事会の情報ルートを生かして送り先を素早く調整、飲料水を手始めに食料、医薬品、乳幼児用品、下着類などを早急に配送する。復興の状況をみながら、義援金募集も行う。

3/17 山形県・川西町商工会が避難場所を支援

3月17日から町内2箇所の緊急避難所（約100名）について、商工会が緊急物資運搬者となっているため、町役場からの依頼を受け、随時食料の搬入を行っている。

3/17 山形県・尾花沢市商工会女性部が支援活動

尾花沢市商工会女性部では、3/17～31まで、当番制で朝食・夕食の炊き出しを実施するとともに、支援物資（タオル、衣類、日用品等）についても提供した。

3/16岡山県・岡山北商工会の支援活動

3月に商業施設等において複数回に渡り募金活動を行い、義援金を集めるとともに、支援物資の受付を行う等の支援活動を実施している。

3/16 豊岡市商工会日高支所が大型空き店舗を利用して義援金活動

3月16日、豊岡市商工会日高支所支所長の和田貞夫さんが市役所を訪れ、「東北地方太平洋沖地震」被災地への義援金として、100,500円を中貝市長に手渡した。

今回の義援金は、3月12日・13日に、JR江原駅前的大型空き店舗で実施した「掃除大作戦&商い市場2Days」での義援金箱の設置で寄せられたもののほか、出店者の売上金の一部から集められたもの。同イベントは、同商工会青年部のメンバーを中心に17人で組織する「江原駅周辺地域商業活性化促進委員会（清水 寛委員長）」が実施したもので、13日のイベント当日は、2,500人もの来場者でにぎわった。

3/16 埼玉県・入間市商工会が救援物資を募集・配送

埼玉県入間市商工会では、入間市工業会等の四団体と連携して、飲料水、カップ麺等のインスタント類、缶詰、乾電池、未使用の毛布・タオル、生活用品(洗面用具・紙おむつ・生理用品・トイレットペーパー)等を企業や一般市民から募集し、避難生活をされている方々へ救援物資を搬送している。(3/16 第一陣、4月にも複数回予定)

3/15 兵庫県・篠山市商工会が義援金活動

篠山市商工会が募金活動を開始。会員の約1350事業所に参加を呼び掛け、希望する事業所に専用ボックスを配布している。集まった義援金は、県・市もしくは県連等を通じて被災地に届ける予定。

3/15福井県・坂井市商工会が義援金活動

坂井市商工会 被災地の若手経営者や後継者の復興を支援するために、東日本大震災チャリティー募金活動を実施している。寄せられた募金は商工業復興支援のため宮城県商工会青年部連合会、岩手県商工会青年部連合会、及び福島県商工会青年部連合会の団体に寄付する。

3/15 山形県・東根市商工会女性部が炊き出しを実施

東根市商工会女性部は、市からの要請を受け、市民体育館に避難中の福島、宮城からの避難民に対して炊き出しを実施した。

3/14 佐賀県・佐賀市北商工会青年部が被災地に毛布を提供

佐賀市北商工会、佐賀県旅館組合青年部が共同で青年部員並びに毛布提供を呼びかけ、集まった毛布131枚を被災地におくった。

3/14 栃木県内商工会等に特別相談窓口が開設

県経営支援課、県信用保証協会と県内の商工会議所、商工会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会は14日、東日本大震災の影響を受けた中小企業を対象に特別相談窓口を開設した。年度末に向けた資金繰り、保証制度などについて助言する。31日まで。

3/14 兵庫県・豊岡市商工会日高支所の支援活動

3月12日・13日に、同商工会青年部のメンバーを中心に17人で組織する「江原駅周辺地域商業活性化促進委員会（清水 寛委員長）」が、JR江原駅前の大型空き店舗でチャリティイベントとして「掃除大作戦&商い市場2Days」を実施し、義援金箱を設置し募金を募るとともに、売上金の一部からも義援金を集め、100,500円を市長を通じて寄付した。

3/14 宮城県・遠田商工会涌谷事業所で、被災者、給水支援隊の受け入れを実施

涌谷町商工会では、3月14日から3月末まで、商工会館を避難所として、被災した商工会の会員や地域住民の受け入れを行った。また、町の断水への対応として、富山県富山市・氷見市からの給水支援隊の受け入れ支援（宿泊場所や食事の提供等）を行うとともに、給水活動を行った。